



松江の仏像は平安時代に優品が集中します。しかし、本日はあえて鎌倉・室町・江戸時代のユニークな仏像を紹介します。

I. 鎌倉時代

木造阿弥陀如来立像 妙岩寺・松江市宍道町

全国にたった 20 例しか知られていない、歯を見せる阿弥陀如来像。

歯吹阿弥陀（はふきあみだ）

像高98.6センチ

II. 室町時代

島根県指定文化財 木造十一面観音菩薩立像 報恩寺・松江市玉湯町

奈良・長谷寺の十一面観音菩薩像と兄弟仏。

なぜか長谷寺より有名仏師の作。

像 高 422.0センチ
仏 師 康運 こううん
制作年 天文7年(1538)
檀 那 尼子経久 あまご つねひさ

十一面観音立像 墨書銘

墨書銘1

首ほぞ墨書銘

奉□供養長□

半仏尊像十一面

観音本願

太郎右衛門

住寺□□房

檀那佐々木尼子

伊与守源経久同

民部 久

湯信濃守久長

大西兵庫助久忠

東次郎右衛門尉久連

仏師 久

墨書銘2

足ほぞ墨書銘

都七条運慶子孫

大仏師式部卿法印 愚息

康運作日本第一之 亀□□

熊野権現同作也 同作

天文七年 卯月八日

「昭和五五〇六年度 修復文化財関係銘文集成」 京都国立博
物館『学叢』第五号 昭和五八年より引用

Ⅲ. 江戸時代

木造薬師如来坐像 松江歴史館

薬師像 像高18.4センチ

厨子 高さ48.2センチ

仏師 西尾文朝 にしお ぶんちょう

制作年 文化7年(1810)

檀那 田代恒親 たしろ つねちか

薬師如来坐像 台座敷板墨書銘

与法業苦衆生之

薬師肖像 相瑠璃之定印

結迦(跏)趺坐

夫真影雖有擁護、若無妙相者、終不能發、於茲吾祖定朝法印、既發大智、真像造立、而以施其業法、十方具相好印明者、儀軌故、雖為秘密、予窺其真相、剛精思之工夫、為謹巧者皆以先伝之輔也、普業法興隆而以著肖影焉而結大因縁本源自性天真仏之妙理得達而大乘之仏身可奉拝者也、

倉吉仏師 西尾文朝謹識

文化七年午三月

薬師如来坐像 背面蓋裏墨書銘

文化七庚午之年使

西尾文朝作此医王

之肖像田代家相伝

之薬師如来安置其

於伯州三代目

中者也

田代元春恒親

参考文献

西島太郎『松江・鳥取藩医田代家の薬師如来坐像』松江歴史館研究紀要 2021

的野克之『松江の仏像―その時代とかたち』松江市ふるさと文庫 32 2022